

2025年日本国際博覧会 トイレ2



外観

「トイレ2」は、約400年前大坂城再建の折、京都府の大野山から切り出され、木津川にストックされていた花崗岩が大屋根を支える。歴史的な石を現代の建築の中に存在させ、自然と人のいのちを感じる場となっている。



外観

デジタル技術を利用して木材を加工することで、石を傷つけることなく、そのままの形状で建築に取り入れている。石が切り出された際の跡も残っており、過去と現代の融合を感じさせるトイレ建築となっている。

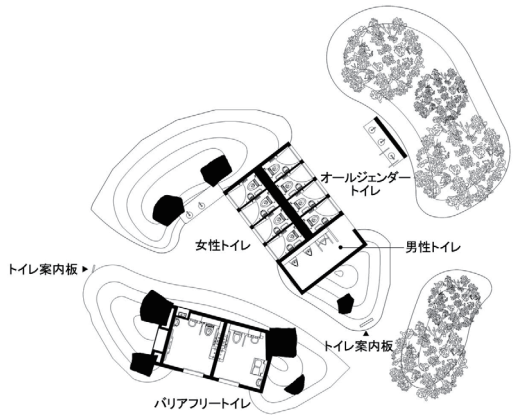


案内図

案内図にピクトグラムを用い、トイレ全体の構造と仕様をひと目でわかるように掲示。また、視覚障がい者に配慮して触知図としている。

図面

周囲の視線に配慮し、建物中央に女性トイレを配置。バリアフリートイレは、ほかのトイレと別に集約して、利便性を確保。また、オールジェンダートイレと男性トイレの対面に洗面コーナーを設けている。



男性・オールジェンダートイレ全体

外側に面した場所には、小便器のみを設置した男性トイレと、大便器を備えたオールジェンダートイレを設けている。



男性トイレ小便器コーナー



男性トイレは入口にドアを設けないドアレスとなっており、非接触でスムーズに入室できる。小便器が設置された壁面には、建物で使用されている石についての説明があり、イラストを用いてわかりやすく伝えている。



オールジェンダートイレ



オールジェンダートイレ個室の扉には、ひと目で男女共用とわかるようピクトグラムを掲示。個室は隙間なく壁、床、天井に包まれており、安心感のある空間となっている。

水まわりの特長

建物の特徴

5年に一度世界1ヶ所のみで実施される国際的イベント「国際博覧会」が大阪市内の夢洲（ゆめしま）で開催。会場内の休憩所やトイレなど計20施設を、公募型プロポーザルにて若手建築家が設計。「トイレ2」は、約400年前に大坂城再建のために切り出されながらも使用されなかった残存石を活用。長い時間を経て自然の力と人の手によって作られた花崗岩を「いのちある存在」として建築に取り込み、石と大屋根によって生まれる空間は、自然と人の生命のつながりを感じる場となっている。石には切り出された際の人の痕跡が刻まれ、長い時間をかけて紡がれた唯一無二の生命としての力強さや温もりを感じられる。石は、万博の閉幕後、再び木津川市に戻される。

トイレの特長

利用しやすさを追求し、男女別トイレやオールジェンダートイレ、バリアフリートイレをそれぞれ異なる建物に配置。バリアフリートイレは、車いす使用者が快適に利用できる広さを確保し、オストメイトにも対応した設計。さらに、左右勝手違いで2ヶ所用意され、利用者の多様なニーズに応じた環境を提供している。また、小便器コーナーとオールジェンダートイレは建物の外側に面し、女性トイレは、視線に配慮し建物中央に配置されている。オールジェンダートイレと女性トイレの全ブースには、乳幼児連連れに配慮した器具も用意。オールジェンダートイレは、異性による介助や性的マイノリティの方を含め、さまざまな利用者を想定し、快適、安全に使用できる設計となっている。

建築概要

名称	2025年日本国際博覧会 トイレ2
所在地	大阪府大阪市此花区夢洲中1-1-20(2025年日本国際博覧会会場内)
施主	公益社団法人 2025年日本国際博覧会協会
設計	Studio mlkke 一級建築士事務所 Studio on_site Yurica Design and Architecture
竣工年月	2025年3月
延床面積	60.54㎡
構造・階数	鉄骨造、一部木造・地上1階

おもなTOTO使用機器

パブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式:CFS498B
ウォシュレット アプリコットP(擬音装置「音姫」付きエコリモコン):TCF5831AUP
自動洗浄小便器:UFS900WR
コンパクト・バリアフリートイレパック:UADAK21R1A1ADD2BA、
UADAK21L1A1A1ADD2BA
収納式多目的シート:EWC520AR系



女性トイレ 全体

外部からの視線に配慮し、女性トイレは建物の内側に4ヶ所設置。すべての大便器ブースは、統一された仕様が採用され、どのブースを利用しても同じ快適性と機能が確保されている。



女性トイレ大便器ブース



大便器ブースには、連続洗浄が可能で節水効果の高いパブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式を採用。扉には小便器コーナーと同様に、建物に使用された石についての説明資料を掲示している。



バリアフリートイレ



バリアフリートイレは、左右に並んで2ヶ所設置されており、左右勝手違いの仕様。オストメイト対応の汚物流しや収納式多目的シートが設置され、多様な利用者に対応できる仕様としている。